

人生100年時代

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日、94才の方が起こした自転車事故の報道がありました。事故自体は残念なことですが、元気に94才が自転車に乗られる事は良い事です。日本の平均寿命が男性81才、女性87才だそうですが、実感的にはもっと上の気がします。私の祖母が10年ほど前に100才越えて亡くなりましたが、



代表取締役社長 吉田治伸

ますが、当時は、江南市では100才越えは数人しかいなくて記念に銀の盃をいただきました。現在は、数百人になりご褒美はなくなったようです。

こんな話をきくと気になるのは年金です。もともと平均寿命が60才以下だった頃の年金制度は寿命が20年以上も伸びて成立するはずがないのであります。ましてや、支える世代の出生数は団塊の世代の半分以下なのであります。

こんな時代、大切な事は何なのでしょう？それは、健康でいる事、ずっと働ける事ではないでしょうか？おかげ様で、日本は諸外国と違い、労働は「苦役」という考え方は少ないのです。日本人にとって、「労働」は、自分を成長させるものであり、世のため人のためになるものである尊いものなのであります。当社の定年は63才であります。70才以上の方も数多く働いて下さっています。今後も多くの高齢な方がそれぞれのペースで働くことができるというのはうれしい事だと思っています。

体のためになり、友達ができ、世の中のためになり、そのうえ、お金までもらえる。そんなコニックスを皆さんで育てていただき、お友達をご紹介いただき、楽しい会社にしたいと思っております。

どうぞよろしくご支援お願いします。